

名前：

子供の時、「ドラえもん」というアニメが
好きだった。^{この}未来から来た機器猫はいろいろ
な道具を使って、まるで魔法みたい、生活が
楽になった。それを見た小さな私は、もし
ドラえもんを持っていたらよかったと思っ
た。
今のインターネットは自分がドラえもん
と言わんばかり、生活にものすごく役に立つ。
想像で得る情報を何でも提供し、「キーワード」
が^あたら、資料をすぐ見付けられる。それだ
けじゃなくて、自分のことを人々に見せて、
有名になるとか、店なし商売するとか、イン
ターネットはありえない夢を実現する魔法師
でもいられる。
でも、インターネットの存在は本当に雑誌
や新聞がいらない理由だ。インターネット
は本当に万能だ。
想像してみよう。もし新聞がいなくな
ら、息
味が深いレポートと評論や、多彩な絵をきれ
いに並ぶものもなくなる。雑誌がいなくな
ら、人
も情報を直接手に入る親近感も消す。

インターネットにある大きな問題は、資
料の不整備や誤りと個人的なパソコンがまた
発達しないこと。インターネットでの資料は
だいたひん々の提供からきたものが、証拠のな
いものや主観的な論点が多い。生活には足り
るかもしれないが、学術的な研究に対しては
使えない。それに個人的なパソコンはまた普
及しないから、どこでも情報を必要とするこの
時代のばいにはとても不便だ。例えば、駅で電
車を待ち時や美容院にデザイナーを待ち時
などこまかい時間を利用するのは、新聞や雑
誌を読むしかないだろう。
さらに、法律には、インターネット犯罪に
関する立法もまた直す必要があるから、
ごまかすなど一つ心配だ。
そう思い出して、「ドラえもん」のアニメ
の中で、^{いつ}万能なドラえもんを頼んだ主人公の
ひたは、毎回、素晴らしい道具を使ったのに、
可哀相な結局になった。そう言えば、われ
われ人間も、あまりインターネットを依頼しな

1800字

「ほうがいいかもしれないじゃないか。」